



2023年12月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年8月14日

上場会社名 株式会社ジーエヌアイグループ 上場取引所 東
 コード番号 2160 URL <https://www.gnipharma.com>
 代表者 (役職名) 取締役代表執行役社長兼CEO (氏名) イン・ルオ
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役CF0 (氏名) 鈴木 勘一郎 (TEL) 03-6214-3600
 四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第2四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	14,096	72.9	5,476	445.1	5,117	547.5	4,014	—	1,658	145.2	4,916	110.6
2022年12月期第2四半期	8,154	26.1	1,004	△31.0	790	△34.0	197	△73.4	676	△28.1	2,334	41.7

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	34.93	34.81
2022年12月期第2四半期	14.25	14.18

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2023年12月期第2四半期	45,050	24,798	22,976	51.0	483.85
2022年12月期	33,906	19,810	20,969	61.8	441.59

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	—	—	0.00	0.00
2023年12月期	—	—	—	—	—
2023年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当 り当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,273	45.1	5,991	334.8	4,143	439.5	2,174	—	1,703	338.0	35.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名）除外 一社 （社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期2Q	47,487,843株	2022年12月期	47,487,843株
② 期末自己株式数	2023年12月期2Q	1,426株	2022年12月期	1,391株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期2Q	47,486,448株	2022年12月期2Q	47,461,630株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1-(4)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

また、当社は、2023年8月17日に、機関投資家・アナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。その説明会資料は、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状態に関する分析	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	3
(3) 研究開発活動	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	7
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	8
要約四半期連結損益計算書	8
要約四半期連結包括利益計算書	9
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(作成の基礎)	13
(セグメント情報)	13
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績・財政状態に関する分析

（1）経営成績に関する分析

当第2四半期連結累計期間におきましては、引き続き世界中でインフレ率が高まり、また地政学的な不安定さや金利上昇に伴う資本市場の動揺などの不透明さがくすぶっております。バイオテクノロジー・セクターでも同様に、世界的に将来に対する不透明感を完全に払しょくするまでに至っていません。そのような環境下におきまして、株式会社ジーエヌアイグループ（以下「当社」）及びその関連会社（以下合わせて「当社グループ」）は、主要事業におきまして前年同期比で売上収益の増加を達成しました。そして、2023年6月に開示しましたとおり、米国子会社でありますCullgen Inc.（以下「Cullgen」）がアステラス製薬株式会社（以下「アステラス製薬」）と戦略的提携関係を結ぶことに至り、黒字化を達成しております。これにより、当社グループの主要子会社3社全てが、当連結会計年度におきまして、初めて黒字化を達成することとなります。

特に、当社グループ主要子会社である北京コンチネント薬業有限公司（以下「北京コンチネント」）の主力製品であるアイスーリュイの販売は、引き続き堅調さを保っております。また、次期製品の有力な候補であるF351の中国における臨床試験は、2023年5月に開示しましたとおり、第Ⅲ相臨床試験で被検者登録数が予定の半分を超え、2023年中の登録者数達成に向け順調に推移しております。

また、2022年12月に開示しました、米国ナスダック上場のCatalyst Biosciences, Inc.（以下「CBI0」）との取引は、想定より少し遅れておりますが、鋭意進めております。

米国で生体材料事業に携わるBerkeley Advanced Biomaterials LLC（以下「BAB」）を筆頭に、医療機器事業の業績は堅調に推移しております。

米国及び中国を中心に研究開発に特化している子会社Cullgenは、独自の標的タンパク質分解誘導技術プラットフォームuSMITE™（ubiquitin-mediated, small molecule induced target elimination）を活用した創薬に引き続き邁進しており、財務面及び研究開発面で大きな成果がありました。Cullgenは、2023年5月に開示しましたとおり、アストラゼネカ-CICCファンドをリード・インベスターとする新しい資金調達で、4,000万米ドル（一部Outward Direct Investment（海外直接投資）承認待ち）を調達しました。加えて、上記のとおり、2023年6月にCullgenはアステラス製薬と革新的なタンパク質分解誘導剤創出に向けた共同研究及び独占的オプション契約を締結し、戦略的提携を進めております。2023年6月の開示でご説明しました契約一時金は、連結損益計算書においては、当第2四半期連結累計期間において売上収益に一括計上しました。また、Cullgenは、同社最初のTRK分解剤を使用した抗がん剤候補の、中国における臨床試験を進めております。同時に、他の複数のプログラムについても、臨床試験申請を目指して開発を進めております。

①セグメント別の経営成績

医薬品事業

北京コンチネントの主力製品であるアイスーリュイの中国市場での売上収益は堅調に推移しました。また、Cullgenとアステラス製薬との戦略的提携による契約一時金による売上収益4,725,000千円を計上しました。

その結果、医薬品事業セグメントの売上収益とセグメント利益は、それぞれ12,768,126千円（前年同期比82.7%増）、4,964,402千円（前年同期比936.1%増）となりました。

医療機器事業

医療機器事業セグメントの売上収益とセグメント利益は、それぞれ1,328,418千円（前年同期比14.0%増）、512,073千円（前年同期比2.6%減）となりました。

②販売費及び一般管理費並びに研究開発費

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間	差額
販売費及び一般管理費	△4,765,750	△6,179,184	△1,413,434
人件費	△1,892,666	△1,964,780	△72,114
研究開発費	△1,089,540	△1,253,059	△163,519

当第2四半期連結累計期間の販売費及び一般管理費は、6,179,184千円（前年同期比29.7%増）となりました。この販売費及び一般管理費の増加は、主に医薬品事業セグメントの人件費及び営業体制の構築費用やマーケティング活動関連費用の増加によるものです。

当第2四半期連結累計期間の研究開発費は、1,253,059千円（前年同期比15.0%増）となりました。主に医薬品事業セグメントにおける研究開発費の増加によるものです。

③金融収益及び金融費用

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間	差額
金融収益	175,775	306,524	130,749
金融費用	△390,055	△539,038	△148,982

金融収益

当第2四半期連結累計期間の金融収益は、306,524千円（前年同期比74.4%増）となりました。この金融収益の増加は、主に受取利息と為替差益の増加によるものです。

金融費用

当第2四半期連結累計期間の金融費用は、539,038千円（前年同期比38.2%増）となりました。この金融費用の増加は、主にCullgenの資金調達に関する現金支出を伴わない利息費用の増加によるものです。

(2) 財政状態に関する分析

連結財政状態

(単位：千円)

	前連結会計年度	当第2四半期連結会計期間	差額
資産合計	33,906,981	45,050,897	11,143,915
負債合計	14,096,013	20,252,562	6,156,548
資本合計	19,810,968	24,798,335	4,987,366

資産合計

当第2四半期連結会計期間における資産合計は、45,050,897千円（前連結会計年度末比32.9%増）となりました。この資産の増加は、主にCullgenの営業債権及び資金調達による現金及び現金同等物の増加によるものです。

負債合計

当第2四半期連結会計期間における負債合計は、20,252,562千円（前連結会計年度末比43.7%増）となりました。この負債の増加は、主にCullgenの資金調達及びそれに関する現金支出を伴わない利息費用の追加計上によるものです。

資本合計

当第2四半期連結会計期間における資本合計は、24,798,335千円（前連結会計年度末比25.2%増）となりました。主に利益剰余金の増加によるものです。

連結キャッシュ・フロー

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間	差額
営業活動によるキャッシュ・フロー	389,264	872,378	483,113
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,496,808	△2,585,288	△1,088,479
財務活動によるキャッシュ・フロー	△267,292	3,942,881	4,210,173

営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、872,378千円の収入（前年同期は、389,264千円の収入）となりました。これは主に、税引前四半期利益5,117,961千円に対して、営業債権及びその他の債権の増加4,060,271千円によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、2,585,288千円の支出（前年同期は、1,496,808千円の支出）となりました。主な支出は、中国における長期性預金の取得及び工場拡張に係る有形固定資産の取得によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、3,942,881千円の収入（前年同期は、267,292千円の支出）となりました。主な収入は、Cullgenの資金調達に伴う非支配持分からの払込によるものです。

(3) 研究開発活動

〔研究活動〕

当社グループの創薬研究では、Cullgenを中心に革新的な新規開発候補化合物（NCE）の開発を目指しております。Cullgenは、がん、痛み、及び自己免疫疾患に対する酵素及び非酵素タンパク質を標的とした複数の新規化合物を含む創薬パイプラインの拡充のための研究開発を進めております。

2023年6月15日に開示しましたとおり、Cullgenはアステラス製薬と、革新的なタンパク質分解誘導剤創出に向けた共同研究及び独占的オプション契約を締結しました。同契約において、両社は新規E3リガンドを活用したCullgen独自の技術プラットフォームuSMITE™とアステラス製薬の創薬ケイパビリティを融合し、複数のタンパク質分解誘導剤の創出を目指します。Cullgenとアステラス製薬は共同研究を行い、アステラス製薬は開発及び商業化を担います。なお、Cullgenは、乳がんやその他の固形がんを対象として同社が同定したリードプログラムである細胞周期タンパク質に対する分解誘導剤候補化合物の米国における開発に伴う費用と得られた利益を両社で折半し、製品化された場合に共同販促活動（コ・プロモーション）する権利を有しております。

〔開発活動〕

■アイスーリュイ〔中国語：艾思瑞®、英語：ETUARY®（一般名：ピルフェニドン）〕ー北京コンチネント

糖尿病腎症（DKD）

アイスーリュイの適応を糖尿病腎症に拡大する臨床試験は、第I相を完了しておりますが、次フェーズ臨床試験の規制上の方向性を決めるため、クラス2会議（臨床試験に関する技術的な会議）の申請を中国のCDE（Center for Drug Evaluation、医薬品評価センター）に提出し、今後の進め方を協議しております。

結合組織疾患を伴う間質性肺疾患（SSc-ILD及びDM-ILD）

アイスーリュイの適応を全身性硬化症（強皮症、SSc-ILD）と皮膚筋炎（DM-ILD）の2つに拡大するため、第III相の臨床試験を継続しておりますが、現時点ではじん肺への適応拡大や、F351やF573の臨床試験を優先しております。

じん肺治療薬（Pneumoconiosis, PD）

アイスーリュイの適応をじん肺に拡大する臨床試験は、2022年6月から第III相に入っております。2022年末から2023年初頭の中国における新型コロナウイルス蔓延の影響が多少ありましたが、現時点では被験者の登録も再開しております。

■F351（肝線維症等治療薬）－北京コンチネント

F351（一般名：ヒドロニドン）は肝線維症向け治療薬候補として、北京コンチネントの医薬品ポートフォリオにおける重要な創薬候補化合物であり、他の世界の主要医薬品市場へ臨床開発活動を拡大する戦略の重要な部分を占めております。F351は、アイスーリュイの誘導体である新規化合物であり、内臓の線維化に重要な役割を果たす肝星細胞の増殖及び、TGF- β 伝達経路を阻害します。

F351は、中国のCDEとの協議を経て、2021年3月にNMPAより肝線維症の画期的治療薬の指定を受けました。これにより、F351についてのCDEとの協議が優先的、かつその協議結果を生かした臨床試験を進めることが可能となっております。その後、2021年7月29日に中国において第Ⅲ相臨床試験の許可申請が承認され、2022年1月に第Ⅲ相臨床試験を開始いたしました。2023年5月9日に開示しましたとおり、F351第Ⅲ相試験で被検者登録数が予定の半分以上を突破しました。なお、中国のCDEと協議の上、慢性B型肝炎による肝線維症の治療薬としてのF351の効果と安全性を長期で調べるため、2023年6月にF351の第Ⅲ相を拡張した第Ⅲb相臨床試験を開始いたしました。この第Ⅲb相臨床試験は、F351の上市スケジュールには直接の影響はありません。

なお、F351の権利は、中国においては北京コンチネントが保持しておりますが、日本、豪州、カナダ、米国及び欧州各国を含む中国以外におけるF351の権利は、CBIOに譲渡いたしました（この取引の詳細については、2022年12月27日の適時開示と2022年12月30日及び2023年1月18日開示のQ&Aをご参照ください）。

CBIOは、2023年後半に米国で非アルコール性脂肪肝炎（NASH）の治療薬として第Ⅱ相臨床試験開始申請（IND）を行う予定です。NASHは、非アルコール性脂肪性肝疾患（NAFLD）の重症型であり、肝臓の炎症と線維化を特徴とし、肝硬変、肝不全、肝細胞がん（HCC）、死へと進行することがあります。現在、NASHの治療薬として日米欧で承認された製品はありません。CBIOは、肝硬変を伴わないNASHによる、進行した肝線維化を有する成人被験者を対象に、ヒドロニドン・カプセルを1日360mg（1日3回120mg（TID）投与）、24週間経口投与した場合の安全性、忍容性、薬物動態（PK）及び薬力学（PD）を評価する無作為、二重盲検、プラセボ対照、並行群間比較試験の第Ⅱa相、概念実証（Proof of Concept: PoC）の臨床開発を開始することを計画しております。提案されている第Ⅱa相試験の主な目的は、本剤が奏功した場合のより包括的な第Ⅱ／Ⅲ相臨床試験の基礎として、NASH線維症の被験者におけるヒドロニドンのPoC結果を早期に得ることです。本試験では、少人数の被験者（合計60名）を対象に、ヒドロニドン又はプラセボを2：1の割合で投与する予定です。本試験では、薬物服用によるNASH線維化の評価に関連する一連の非侵襲的な生化学及び画像バイオマーカーのベースラインからの変化、及びヒドロニドンの抗線維化作用の機序を評価する予定です。本試験では、採血を行い、初期集団のPK及びPK/PD関係の評価し、NASH線維症を対象とした今後の臨床試験におけるヒドロニドン開発の参考にする予定です。さらに、本試験では、疾患特有の患者報告アウトカム（PROs: Patient-reported outcomes）として、実績のある慢性肝疾患アンケート（CLDQ: Chronic Liver Disease Questionnaire）のNASH版を導入し、NASHによる線維化が進行した被験者の生活の質（QOL: Quality of Life）に対するヒドロニドン治療の影響について、患者報告データを収集する予定です。

■F573（急性肝不全（ALF）・慢性肝不全の急性増悪（ACLF）治療薬）－北京コンチネント

F573はアイスーリュイ及びF351に次ぐ3番目の創薬候補化合物として、カスパーゼを阻害する可能性を持つ強いジペプチド化合物であり、急性肝不全（ALF）や慢性肝不全の急性増悪（ACLF）に関連して発生するアポトーシスや炎症反応に重要な化合物です。

F573に関しましては、2023年3月28日に開示いたしましたとおり、第Ⅱ相臨床試験を開始いたしました。

■CG001419（TRK分解剤）－ Cullgen

2022年8月9日に「連結子会社CullgenのTRK分解剤に関するIND申請承認のお知らせ」で開示いたしましたとおり、Cullgenは中国のNMPAから固形がん治療用途でのトロポミオシン受容体キナーゼ（TRK）分解剤開発候補化合物であるCG001419のIND承認を取得いたしました。CG001419は、非小細胞肺癌や乳がん、膵臓がん等を含む多くの固形がんで見出される神経栄養性チロシン受容体キナーゼ（NTRK）融合遺伝子にコードされるTRKタンパク質異常の進行がんの治療に使用が期待される、ファースト・イン・クラスの選択的かつ経口剤となり得る標的タンパク質分解誘導作用を持つ開発候補化合物です。

2022年末から2023年初頭にかけての中国における新型コロナウイルス流行を受け、臨床試験の開始が想定より遅れておりましたが、中国での第Ⅰ相臨床試験を開始いたしました。また、米国FDA（食品医薬品局）との米国での臨床試験前の協議は継続しております。

（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年8月3日の「2023年12月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	3,951,217	4,651,582
使用権資産	755,167	739,412
のれん	6,047,721	6,575,451
無形資産	2,928,800	3,560,129
持分法で会計処理されている投資	622,476	501,401
繰延税金資産	184,171	194,990
その他の金融資産	2,270,162	4,009,177
非流動資産合計	16,759,717	20,232,144
流動資産		
棚卸資産	1,693,412	1,683,571
営業債権及びその他の債権	3,122,463	7,535,023
その他の金融資産	196,543	202,909
その他の流動資産	1,085,535	1,320,493
現金及び現金同等物	11,049,310	14,076,753
流動資産合計	17,147,264	24,818,752
資産合計	33,906,981	45,050,897
負債及び資本		
非流動負債		
リース負債	157,744	107,473
繰延税金負債	546,790	667,383
その他の金融負債	9,706,958	14,743,935
その他の非流動負債	181,027	175,850
非流動負債合計	10,592,520	15,694,643
流動負債		
営業債務及びその他の債務	949,612	727,665
借入金	200,000	1,000,000
リース負債	179,611	198,777
未払法人所得税	1,179,254	1,340,287
その他の金融負債	7,225	6,890
その他の流動負債	987,788	1,284,298
流動負債合計	3,503,492	4,557,918
負債合計	14,096,013	20,252,562
資本		
資本金	10,893,070	10,896,766
資本剰余金	6,233,386	5,445,903
自己株式	△756	△794
利益剰余金	696,360	2,355,166
その他の資本の構成要素	3,147,631	4,279,306
親会社の所有者に帰属する持分合計	20,969,692	22,976,347
非支配持分	△1,158,724	1,821,987
資本合計	19,810,968	24,798,335
資本及び負債の合計	33,906,981	45,050,897

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上収益	8,154,817	14,096,545
売上原価	△1,134,655	△1,341,214
売上総利益	7,020,162	12,755,330
販売費及び一般管理費	△4,765,750	△6,179,184
研究開発費	△1,089,540	△1,253,059
その他の収益	54,380	286,180
その他の費用	△214,584	△132,791
営業利益	1,004,668	5,476,475
金融収益	175,775	306,524
金融費用	△390,055	△539,038
持分法による投資損失	—	△126,000
税引前四半期利益	790,388	5,117,961
法人所得税費用	△592,469	△1,103,886
四半期利益	197,918	4,014,074
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	676,446	1,658,805
非支配持分	△478,528	2,355,269
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	14.25	34.93
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	14.18	34.81

要約四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期利益	197,918	4,014,074
その他の包括利益		
純損益にその後に振替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	2,136,618	897,349
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	—	4,925
その他の包括利益合計	2,136,618	902,274
四半期包括利益合計	2,334,536	4,916,349
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	3,018,532	2,759,653
非支配持分	△683,995	2,156,696

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間（自 2022年1月1日 至 2022年6月30日）

(単位：千円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
					新株予約権	在外営業活動 体の換算差額	合計
2022年1月1日残高	10,884,332	6,224,649	△645	307,535	543,445	900,992	1,444,437
四半期利益	—	—	—	676,446	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	—	2,342,085	2,342,085
四半期包括利益合計	—	—	—	676,446	—	2,342,085	2,342,085
株式報酬取引	—	—	—	—	161,718	—	161,718
所有者との取引額合計	—	—	—	—	161,718	—	161,718
2022年6月30日残高	10,884,332	6,224,649	△645	983,981	705,163	3,243,077	3,948,241

	親会社の所有者に帰属する持分		
	合計	非支配持分	資本合計
2022年1月1日残高	18,860,309	405,936	19,266,246
四半期利益	676,446	△478,528	197,918
その他の包括利益	2,342,085	△205,467	2,136,618
四半期包括利益合計	3,018,532	△683,995	2,334,536
株式報酬取引	161,718	—	161,718
所有者との取引額合計	161,718	—	161,718
2022年6月30日残高	22,040,559	△278,058	21,762,501

当第2四半期連結累計期間（自 2023年1月1日 至 2023年6月30日）

（単位：千円）

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
					新株予約権	在外営業活動 体の換算差額	合計
2023年1月1日残高	10,893,070	6,233,386	△756	696,360	824,192	2,323,439	3,147,631
四半期利益	—	—	—	1,658,805	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	—	1,100,848	1,100,848
四半期包括利益合計	—	—	—	1,658,805	—	1,100,848	1,100,848
支配継続子会社に対する持 分変動	—	△791,179	—	—	—	△32,836	△32,836
新株の発行	3,696	3,696	—	—	—	—	—
新株予約権の失効	—	—	—	—	△21,725	—	△21,725
株式報酬取引	—	—	—	—	85,388	—	85,388
自己株式の取得	—	—	△38	—	—	—	—
所有者との取引額合計	3,696	△787,483	△38	—	63,663	△32,836	30,826
2023年6月30日残高	10,896,766	5,445,903	△794	2,355,166	887,855	3,391,450	4,279,306

	親会社の所有者に帰属する 持分		
	合計	非支配持分	資本合計
2023年1月1日残高	20,969,692	△1,158,724	19,810,968
四半期利益	1,658,805	2,355,269	4,014,074
その他の包括利益	1,100,848	△198,573	902,274
四半期包括利益合計	2,759,653	2,156,696	4,916,349
支配継続子会社に対する持 分変動	△824,015	824,015	—
新株の発行	7,392	—	7,392
新株予約権の失効	△21,725	—	△21,725
株式報酬取引	85,388	—	85,388
自己株式の取得	△38	—	△38
所有者との取引額合計	△752,998	824,015	71,017
2023年6月30日残高	22,976,347	1,821,987	24,798,335

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	790,388	5,117,961
減価償却費	239,814	274,252
営業債権及びその他の債権の増減額	△472,879	△4,060,271
営業債務及びその他の債務の増減額	161,555	△332,147
棚卸資産の増減額	△150,680	109,315
賞与引当金増減額	△21,543	△26,766
金融収益及び金融費用	358,503	435,807
その他	335,458	228,858
小計	1,240,618	1,747,009
利息の受取額	26,272	52,577
利息の支払額	△6,492	△10,965
法人所得税の支払額	△871,133	△916,242
営業活動による正味キャッシュ・フロー	389,264	872,378
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額	△948,500	△1,556,800
有形固定資産の取得による支出	△202,521	△601,480
無形資産の取得による支出	△348,338	△425,754
差入保証金・敷金の増加による支出	△261	△3,625
差入保証金・敷金の減少による収入	441	—
貸付金の回収による収入	2,371	2,371
投資活動による正味キャッシュ・フロー	△1,496,808	△2,585,288
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金増減額	△200,000	800,000
非支配持分からの払込による収入	—	3,239,999
リース負債の返済による支出	△56,269	△97,079
自己株式の取得による支出	—	△38
その他	△11,022	—
財務活動による正味キャッシュ・フロー	△267,292	3,942,881
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,489,531	797,472
現金及び現金同等物の増減額	114,694	3,027,443
現金及び現金同等物の期首残高	14,352,133	11,049,310
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,466,828	14,076,753

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(作成の基礎)

(1) IFRSに準拠している旨の事項

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、国際会計基準第34号「期中財務報告」に準拠して作成しております。

当社グループは、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）第1条の2に掲げる「指定国際会計基準特定会社」の要件を満たしていることから、同第93条の規定を適用しております。

本要約四半期連結財務諸表には年次の連結財務諸表で要求される全ての情報が含まれていないため、2022年12月31日に終了した連結会計年度の当社グループの連結財務諸表と併せて利用されるべきものです。

(2) 機能通貨及び表示通貨

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、当社の機能通貨である日本円を表示通貨としており、千円未満を切り捨てて表示しております。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、創薬及び製造販売事業である医薬品事業及び、医療機器事業を展開しております。医薬品事業では、医薬品の研究開発、製造、販売及び受託研究などを行っており、医療機器事業では、生体材料を含む医療機器の研究開発、製造及び販売を行っております。

各報告セグメントの主要製品は以下のとおりであります。

報告セグメント	会社名	主要製品
医薬品事業	株式会社ジーエヌアイグループ、北京コンチネント薬業有限公司、上海ジェノミクス有限公司、GNI Hong Kong Limited、上海ジェノミクステクノロジー有限公司、Cullgen (Shanghai), Inc.、GNI USA, Inc.、Cullgen Inc.、上海リーフ国際貿易有限公司	アイスーリュイ、医薬品開発、その他医薬品、試薬
医療機器事業	Berkeley Advanced Biomaterials LLC、マイクレン・ヘルスケア株式会社	生体材料、医療機器選任製造販売業者(DMAH)及び治験国内管理人 (ICC) サービス

(2) 報告セグメントの売上収益及び損益

当社グループの報告セグメント情報は以下のとおりです。

前第2四半期連結累計期間（自 2022年1月1日 至 2022年6月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	連結
	医薬品事業	医療機器事業	合計		
売上収益					
(1) 外部顧客への売上収益	6,989,504	1,165,313	8,154,817	—	8,154,817
(2) セグメント間の内部売上収益又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,989,504	1,165,313	8,154,817	—	8,154,817
セグメント利益	479,123	525,544	1,004,668	—	1,004,668
				金融収益	175,775
				金融費用	△390,055
				税引前四半期利益	790,388

（注）セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益を用いております。

当第2四半期連結累計期間（自 2023年1月1日 至 2023年6月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	連結
	医薬品事業	医療機器事業	合計		
売上収益					
(1) 外部顧客への売上収益	12,768,126	1,328,418	14,096,545	—	14,096,545
(2) セグメント間の内部売上収益又は振替高	—	23,197	23,197	△23,197	—
計	12,768,126	1,351,615	14,119,742	△23,197	14,096,545
セグメント利益	4,964,402	512,073	5,476,475	—	5,476,475
				金融収益	306,524
				金融費用	△539,038
				持分法による投資損失	△126,000
				税引前四半期利益	5,117,961

（注）1. 売上収益の調整額は、セグメント間の内部売上収益であります。

2. セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益を用いております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。